

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	団体・人材育成事業					継続					
コード	21	-	23	-	01	-	01	予算事業名	男女共同参画推進		
担当部署	市民部	男女共同参画課			男女共同参画担当		予算事業コード	会計 10	款 02	項 01	目 17

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務 義務ではない

基本目標(章)	6章	人と人のつながりを感じ、安全で安心して暮らせるまち	根拠となる法令、条例等	川越市男女共同参画推進条例
方向性(節)	1節	ふれあいと思いやりのある地域社会の形成	個別計画等の名称	第四次川越市男女共同参画基本計画
施策	3	男女共同参画社会の実現		
細施策	2	あらゆる分野への男女共同参画の促進		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	市内に活動拠点を持つ女性団体及び政策参画をめざす市民を対象とする。女性団体は相互に協力し合うことにより、男女共同参画の実現を目指す。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	女性団体及び政策参画を目指す市民に、講座等への参加を呼びかけ、地域活動の中核を担う人材育成をする。女性団体の自主活動を支援し、市との協働委託事業を通し活動の活性化を図る。各種研修会等を実施し、地域における女性リーダーの育成を図る。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		492	522	380	380	350	
事業費	A	405	492	340	275	350	320
	B	4,070	4,070	4,070	4,070	4,070	4,070
総コスト(C=A+B)		4,475	4,562	4,410	4,345	4,420	4,390
正規職員(1年間の従事人数)		0.55人	0.55人	0.55人	0.55人	0.55人	0.55人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		4,475	4,562	4,410	4,345	4,420	4,390

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	加入団体数	団体	30	31	26	26	川越市女性団体連絡協議会の加入団体数
活動	協議会等実施回数	回	64	62	57	64	川越市女性団体連絡協議会会議及び部会活動の会議数

中心指標の考え方	本事業は成果指標を中心に評価する。
指標に基づく評価	加入団体数はほぼ横ばい状態であるが、個々の団体の特徴を活かし、協議会全体の運営に役立てている。各部会の活動も活発で協議会を活性化させているが、今後は、より男女共同参画を促進できるよう、自主的活動を推進していく必要がある。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況 有効性に課題 効率性に課題
男女共同参画の推進のためにも、その担い手である女性団体の活動を広く認知してもらうよう、広報活動等に力を入れる必要がある。また、それに合わせ、活動内容の見直しにも検討の余地があると考え。女性団体に対する補助金も、活動の推進のためには必要であるが、より自主的活動に向けての支援も必要である。

(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響
団体育成は、男女共同参画の推進にとって重要な施策の一つであり、その中心となるリーダーの人材育成のためにも必要であるが、自立した団体の育成、支援も考える必要がある。

(4) 所属長自己評価(今後の方向性) 継続
団体及びそのリーダーの育成は、今後の男女共同参画を推進する上で必要なことであるが、各団体等が独自の活動を推進していくことで、新たな男女共同参画の推進が展開されることが望ましい。市はその活動をサポートすることとなり、自立した団体等による男女共同参画の推進が必要である。